

会議録(1)

会議の名称	平成30年度第2回飯能市社会教育委員会議
開催日時	平成30年7月20日(金) 開会 午後3時 閉会 午後4時50分
開催場所	富士見地区行政センター 第1会議室
議長氏名	社会教育委員代表 内沼利泰
出席委員	内沼利泰 本橋萬智子 青柳義久 攝田伸彦 金澤千恵子 山川安代 久下文男 藤本重成 西村敦子 平野和弘
欠席委員	大河原英樹 町田邦弘 大野 康 井上淳治 中嶋文代
説明者の 職氏名	社会教育委員代表 内沼 利泰 生涯学習主幹 塩野智巳
傍聴者の数	1名(取材:文化新聞社)
会議次第	別紙資料
配布資料	1. 会議次第 2. 社会教育委員名簿 3. 飯能ものし〜りクイズ・アンケート集計結果
事務局職員 職氏名	生涯学習課主幹 塩野智巳

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	開始：午後3時
事務局	<p>ただ今から、平成30年度第2回社会教育委員会議を開会いたします。はじめに、委員の選出団体等の役員変更等により残任期間を任期とし、7月1日付で3名の委員の変更がありましたので、委嘱状を交付します。(新任委員3名のうち井上委員欠席のため攝田委員、平野委員2名に事務局から委嘱状を交付)</p> <p>内沼代表からごあいさつをお願いします。</p>
委員代表	(あいさつ)
事務局	<p>続きまして、委員の皆様から自己紹介をお願いします。</p> <p>(自己紹介)</p>
事務局	5. 協議事項に入ります。議長は内沼代表をお願いします。
議 長	<p>前々回の会議で提案があつて、商工会議所の女性部会が作成した飯能郷土かるたに使われている場所を元にして、知っているかどうかのクイズ・アンケートを生涯学習フェスティバルで行い、回収した結果が配付した資料です。この結果を見て意見をいただきたいと思います。</p> <p>ところで、小学校の遠足はどこに行っていますか。</p>
委 員	学年にもよりますが、天覧山、市の博物館など市の公共的な場所や店蔵絹甚などへも行っています。低学年は市の探検として行っています。
委 員	クイズ・アンケートは平均的に地区を選んで作成してあると思います。飯能を知ることは郷土愛のためにも必要で、飯能の良さを知ってもらうために行くことというのは大事なことだと思います。
委 員	小学生が地元のことを知らないので、昨年から地域の事業として自分の住む地域の歴史を知ろうということを始めました。子どもが外で遊ばなくなっており、家族でこういう場所に出かけることも少ないので地元を知ることができないのが現状です。
委 員	子どもに飯能のことを知らせることができるのはどういう時だろうかということを考えます。
委 員	今は子ども会が無くなっており、そういう機会も無くなってきていると思います。
委 員	単位子ども会が無くなってきたこともあり、市の子ども会連合会も無くなりました。

委員	吾野地区は子どもがいないので子ども会が存続できなくなりました。全校でも30人程度しかいないため、地区で分けると1～2人になるので、子どもたちが遊びに出かけることも少なくなっています。習い事などを優先させるということもあります。
委員	子どもたちは親が送り迎えをしないと遊ぶことができないので、出かけません。山間部の子どもたちは交通事故や不審者等の心配があり、自転車にあまり乗って遊びに行きません。
委員	この頃は子どもが外で遊んでいません。学童保育に行っている子どもが遊んでいるくらいだと思います。
委員	双柳小学校の子どもたちは自転車で移動し、よく外で遊んでいます。
委員	山間部には公園がないので子どもたちの集まれる場所がありません。見守りの人がいるような場所なら親は安心して遊ばせることができるのだと思います。
委員	かるたを糸口に飯能を知るきっかけになれば良いのですが、学校で休み時間などにかるたを取り入れてもらえることはできますか。知れば行ってみようということになるのではないかと思います。
委員	第二区地区は県郷土かるたの場所巡りを行ったことがありました。飯能郷土かるたを使っていくうちに、それが発展して現地に行ってみようということになり、市のことについて興味がわいてくるのではないかと思います。
議長	全国では千数百のかるたが出されているようで、群馬県が一番多く、埼玉県は全国で二番目に郷土かるたが多いところです。
委員	県の郷土かるたを暗記したことで、社会科のテストの点が良くなったということを知ったこともあります。
委員	クイズ・アンケート結果を見ると、30～50代の人でも知らない場所が多いなと感じました。何かの機会に大人向けにも普及させるのが良いのではないかと思います。
委員	さいたま市では遠足で天覧山に来るので、さいたま市の子どもたちは知っています。子どもの親世代に知ってもらうことを意図的に行わないと知ってもらうことは難しいと思います。 栃木の若者は地元から出ない人が増えています。10～30代向けの施策も行っています。直接子どもたちに訴えるのは学校で教わったことで、学校で教わったことはいつまでも覚えています。 地元の人たちが地域の大学に行くようになり、学生が街づくりに参加しており、ライブを行ったり、オープンカフェなどもできておしゃれな街になっています。若い親も増えてきています。

委員	初めて飯能に来た時に、細い路地や神社なども多く、魅力的な場所に思えました。段々こういうものが無くなって来てしまったのは残念です。
委員	若者は地元志向が多く、外に出たくないという意識があります。地元で魅力的な場所があれば若者は行きます。
議長	小学校の郷土教育はどうなっていますか。教材等がありますか。
委員	カリキュラムが多く、どれかを捨てないと新しいカリキュラムは入れられません。代わりに捨てた教育はどうするかという問題もあります。遊びの時間に行うしかないと思います。
委員	総合的な学習の時間を使うのはどうですか。
委員	この総合的な学習の時間は年間で行うことがすでに決まっています。
委員	雨で外遊びができないような時などにかかるたを使うことはできませんか。
委員	子どもたちは遊びに行った場所、遠足で行った場所はよく覚えています。出かけるには親と一緒にいくしかなく、学校で場所を絞って学習させる機会はなかなか作れないため、知っている、行ったことがあるという数値が低いのではないかと考えます。
議長	学校に負担をかけないで、郷土かるたの中から5か所選んでイラスト的なガイドマップを親子向けに作るというのはどうでしょうか。
委員	休み時間に使えるようにかるたを置いておくのはどうでしょうか。
議長	かるたは説明が細かくよくできています。
委員	飯能の獅子舞に興味があります。沖縄の那覇市のベッドタウンの浦添市では子どもが多く、学校とは別にして15～25歳の人たちが主体でエイサーを教えています。エイサーがあるから今は引っ越してくる人たちもいます。見てもらえることで伝統芸能がかっこいいものになってきています。
委員	今はヨサコイが流行っていますが、飯能まつりで行われているお囃子も行う人が増えれば良いと思います。
委員	南高麗で総合的な学習の時間に子どもたちにお囃子の指導をしてもらったことがありました。
委員	飯能一小にはかるたはありますか。
委員	1セットくらいはあると思います。
委員	普通のかるたのセットは600円程度で買えますが、飯能郷土かるたは

	2,000円以上するので購入しにくいです。せっかく作ったのに活用できないので、休み時間等で使えると良いと思います。
議 長	作成数が少ないので単価が高くなっていると思う。絵は吉田行男氏が描いたものです。
委 員	子どもに絵を描いてもらってかるたを作成するのはいかがでしょうか。子どもが描いた絵の方が子どもたちも興味を引くと思います。
議 長	地区毎に自慢したい場所をかるたにしたらどうでしょうか。
委 員	今のかるた大会は、札の数を競うことに集中してしまい、文章を全て読まないで頭の文字だけで取るので、かるたの内容を覚えていません。
議 長	今まで出た意見は、子どもたちをターゲットにするという流れですがいかがですか。
委 員	まずは子どもたちをターゲットにするのが良いと思います。
委 員	市子連本部では、県郷土かるたを行っていた頃には郷土を知ることの提唱は行っていませんでした。 今では、子ども会活動がないのでこういうことを行ってもらう手立てがないのが現状です。学校現場に期待するのは難しいと思います。地域でどうするかが課題だと思います。
議 長	どこが中心で行うのかということだと思います。学校に頼るのは難しいと思います。
委 員	公民館の夏休み事業に郷土を知るための学習を取り入れてもらうとか青少年健全育成の会などで子ども対象の事業を行ってもらうということもあるかと思います。だれがどのように行うかが大事だと思います。
委 員	今公民館では公民館に来てもらうということを進めています。かるたが作れば各地で大会を行ってもらうこともできると思います。作成資金がないので各地区の青少年育成の会に分配する事業費を充てるもの良いのではないかと個人的には思います。作成したものが手ごろな価格で売れるようなものになれば良いと思います。
議 長	夏休みの宿題でかるたの絵を描いてもらって選ぶというのはいかがでしょう。
委 員	夏休みは、いろいろな団体から絵やポスターの出品依頼があるので、学校はポスター作成の宿題は出していません。
委 員	児童館はありますか。専任職員はいますか。

委員	市内には2か所あります。
委員	札幌市ではこういう場所が100か所以上あるのでこういう場所に課題を投げかけています。
委員	公民館を子どもから高齢者まで集まれる場所にしていこうとしていますので、公民館に投げかけてみるのも良いかと思います。
議長	具体的にこれからどうしたら良いかという話に移ります。小学生の絵と文でかるたを作るということですが、これについて意見はありますか。
委員	各学校に依頼して、子どもたちに地域自慢の絵を描いてもらってその中から選ぶというのはいかがでしょうか。
議長	依頼と回収を行ってもらおうということですか。
委員	学校の教員から声をかけると学校にも責任が出てしまうので、それは難しいと思います。
委員	広報に募集記事を掲載してもらおうのはいかがでしょうか。
委員	青少年健全育成に係わっています。吾野・東吾野地区は小中4校合わせて100世帯もないと思うので、全員に出してもらわないとかるたを作るのは難しいと思います。かるたの題材になるところは多くあります。
議長	学校を通した方が集まりやすいと思います。
委員	子どもが常日頃絵を描くということはあるですか。
委員	なかなかそういう機会はありません。
委員	どんなものを出す時にでも必ず指導が必用になります。
委員	指導がないと適当なものになってしまいます。
議長	今は絵を書いたことがない子が多いと思います。
委員	以前は写生会がありましたが今はなくなりました。
議長	昔は緑の写生会というのがゴールデンウィークにあって、何百人と集まったことがありました。作品は丸広百貨店で展示をしました。
委員	授業で美術の時間も減っています。
議長	子どもの作品は出来栄の格差が大きいです。

委員	飯能郷土かるたは、小学生には文が長く漢字も難しいと思います。
議長	流れとしては、飯能を知ってもらうために郷土かるたを作成したらどうか、また小学生に絵と文を作成してもらうのはどうかという意見が出されましたので、次回には具体的にアイデアを考えてきてもらいたいと思います。
委員	駿大には地域を学ぶ学科があるので、どうしたら良いか学生にも考えさせてみたいと思います。
議長	学生の柔軟な考えで、アイデアを出していただきたいと思います。 それから、平野委員から若者の居場所づくりについての話を聞かせていただきたいと思います。
委員	小学生から高校生までの不登校の子どもや経済的に困難な子どもたちが30～40人、引きこもりの青年が10人程います。一般社団法人として活動を行っており、そこで行っていることのひとつが太鼓集団響です。こういう子どもたちは社会に一步出ると色々な能力を発揮することができます。引きこもっていた子たちが今度は面倒を見る立場になるというように循環しています。入間市から依頼があって適応学級として太鼓教室を青少年センターで行っています。子どもたちの居場所はヒビキカフェを行っています。午後6時頃から子どもたちが集まってくるのでボランティアの先生たちと活動を行っています。
議長	5年ほど前に社会教育委員会議でコミュニティカフェの議論がありました。ヒビキカフェについての説明もお願いします。
委員	不登校の子たちの塾を作ろうと考えていましたが、不登校の子たちは来てくれないので、普通の人たちや支えてくれる人たちに来てもらえるように民家カフェを作りました。せっかくカフェを開くなら美味しいコーヒーを出そうということで、不登校だった子が焙煎士の資格を取りました。ランチも手づくりで出しています。保留コーヒー制度というのを行って、コーヒーを1杯注文した人に2杯分のコーヒー代を出してもらい、残りの1杯分は貯めておいて、それを使って不登校の子などが食事をできるようにしてここで勉強をしてもらうようにしている制度です。自由に誰でも出入りができるので、大人が和室を使って様々な教室を行っています。
議長	運営の資金はどうしていますか。
委員	カフェの売り上げで運営しています。完全に民間の運営で、補助金等はありません。開設にあたっては高校の教師を退職した時の退職金を充てました。改装費は自費と有志に資金を募りました。桶川駅から徒歩6分くらいで子どもたちも集まりやすい場所です。

事務局

委員

(2) 報告事項をお願いします。

(報告)

- ・ 入間地区社会教育協議会社会教育委員部会について
- ・ 平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会について (埼玉県)

終了：午後4時50分

議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します

平成 年 月 日

議長 の 署 名
